





12
名

神の御名
神の御名
神の御名
神の御名

さいくひのおつとこころ手はるのさく

一問あんらとつとつりハたきとや

答神あり

二神ハあんらの不々
神ハうづのめ
あつとや

三神ハあよゆえよあんらしうづのののとつとつや

神らのれのさうえとあうとさんためあり

四あんらいうまて神のさうえとあうとくうや

神とあいつとるく神のよし
てあいつとるく

五うんらあゆえよ神のうえとあいつとるく

神れとつら

六ひとりのかくに神

神はうひ

七のひの神はうひのくぬあり

三のくぬあり

八その三のくぬあり

父と子と聖靈あり

九神はうひ

神は靈あり
人のこゝろ肉體あり

十神はうひ

神はうひ

十一うんら神とみる

いふに神とみる

つひにわれとみあり

士神シカミはよろしのことをあらわ

あらん神シカミはいふことなむかひにあらん

三神シカミはよろしのことをあらわ

あらん神シカミはそのまゝにあらん

古コいふこと神シカミとあり神シカミはあらん

しまるるや

たゞ聖書シカミよりあらん

十五聖書シカミをかきあらせしはたきぞや

聖霊シカミよめめわれらるる人あり

十六シカミの始祖シカミはわれありや

アダム エバあり

十七シカミの始祖シカミはわれありや

神シカミつらよりアダムシカミの肉體シカミをつくりアダムシカミのからだ

よりエバシカミをつくりあり

十八神シカミアダムシカミとエバシカミよりあらん

神はかくぞ死ぬまじき靈魂をあらへりあり
十九るんち肉體もいまうひとりてらわ

あつりかあしぞ死ぬまじきたまひをしり

二十るんぢたまひとらるるまじりてあらわ

これ神のことと未來のこととちりひをうりうらたより
てあらるあり

廿一神アタムとエカといふものありまじりてあらわ

神はかくぞ死ぬまじきたまひをしり

つらりーあり

廿二らうひといふんぞわ

うまじこれとあひひをうりてあらわ

廿三神アタムとエカといふものありまじりてあらわ

うまじこれとあひひをうりてあらわ

廿四らうひといふんぞわ

つらりーあり

神はかくぞ死ぬまじきたまひをしり

其つていびくらしひおまきんておまきんておまきんて
んと神ハツクヤ

アタム神よあまのこころをいかにかへんかの
そあつんとつひあり

其らつひよむふあまのむひをあらんと神ハツク
ヤ

アタム神よあまの死をいかにかへんつひあり
あり

ニモアタムハツクヤおまのこころをいかにかへんつひあり

あつて神よあまのこころをいかにかへんつひあり

ニつこといあまぞや

アタム神よあまのこころをいかにかへんつひあり
あり

ニつこといあまぞや

神のこころをいかにかへんつひあり
あり

三 千ぢうとといあんのかうぢぞや

神のいまぢーぢーこゝとあせあり

廿二 神の始祖かみつひぢのつこいあんぞや

神のいまぢる果とくひーあり

廿三 神のいまぢる果とくひーあり

惡魔あくまエバといぢるひババタ果とくひーあり

廿四 神の始祖かみつひぢのつこいぢーとくひーの身みよ

ぢーぢーぢーぢーぢー

ぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢー

ぢーぢーぢーぢー

廿五 神のつこいぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢー

ぢー

ぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢー

廿六 神のつこいぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢー

ぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢー

廿七 神のつこいぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢーぢー

おんまこと

おんまこと

世のまこと

神のまこと

天のまこと

地のまこと

水のまこと

火のまこと

風のまこと

空のまこと

聖霊のまこと

聖霊のまこと

聖霊のまこと

聖霊のまこと

聖霊のまこと

聖霊のまこと

人々を救ふとて御子に成りて下さりしなり
しなり

四三父なる神にわれとめぐみのらひよとてや

そのかぎりあるの子キリストあり

四四キリストめぐみのらひよとてわれのくもりとをぬき

そのまゝに人々のくもりとをぬき

四五キリストめぐみのらひよとてわれと御子の御子

その民の御子に成りて下さりしなり

つことあるまじきことなり

四六父なる神の主耶穌キリストにわれの御子の御子と

や

ちしむとてわれの御子の御子とて

四七神の子なるにいらして若とて御子と

神の子キリストにいらして御子の性質にいらし神と

くひ苦とていらして御子とて

四八あるまじきことなり

キリストつこある人よりくりておの達の苦と死とに
くりて神のこより満足するこもあり

聖父ある神はめぐみなりいよあやとうびくひりや

キリストのちがひよあつうのめと義とあり聖とまじ
こもあり

五 義とまじあるんぞや

それハ神のつこある人とゆるめとあつうのめ
りかあつうのめとあつうのめとあつうのめとあつうのめと

ありよこもあり

五 聖とまじあるんぞや

それハ神がつこある人のうろとらこあひとまじ
まじこもあり

五 聖キリストハこれのためよつこあまき苦とうけりや

父ある神がキリストよ托したるののためあり

五 聖キリストの一生涯といふありりや

一生涯まじくまじりるみよありりあり

五四キリスト死せしむるを待ちしや

十字架のくろみとくづしめよ死せり

五五をくひたせけらるるのいれそや

つとくキリストを信じてとらるる生涯とせらるるものなり

五六くゆるといふんそや

神のみをろいふまはるるまはるるをくひてつとくキリストを信じて

やむことなり

五七キリストを信ぜりといふんそや

くひたせけらるるキリストのこゝろをまはるるものなり

五八をくひたせけらるるにうけてくゆることキリストを信ぜり

ことなりや

あつてをくひて神の聖霊のこゝろをまはるるものなり

もよほすことなりや

五九をくひたせけらるる聖霊のたをけとせらるるや

神のこゝろをまはるる神の聖霊をいひて

六十年以前よりキリストに死せりや

一千八百餘年以前あり

六五キリストの信者たる者の信者たることとたゞの信者なりや

とて人とせる救者を信するに在りてあり

六六キリストの信者たることとていふはあつてなりや

つとめたるあつての信者よりてあつてなりや

六七つとめたるあつての信者たることとていふはあつてなりや

神の業キリストの信者たることとていふはあつてなりや

あり

六八キリストの信者の職ありや

キリストの信者の職あり

六九その職ありや

預言者と祭司と王との職あり

七〇キリストの信者たる預言者ありや

キリストの信者たる預言者あり

七一キリストの信者たる祭司ありや

キリストの信者たる祭司あり

二神よめらむあり

奈キリストイテ王あり

三神よめらむあり

奈九汝キリストの預言とていひあり

四神よめらむあり

奈汝キリストの祭司とていひあり

五神よめらむあり

奈汝キリストの王とていひあり

六神よめらむあり

七神西乃の山とていひあり

十のいまあり

十三その十のいまあり

増誠といふあり

十四第のいまあり

十五神よめらむあり

十六のいまあり

人ぐーのれびつらふかこまけくまのくまのくまの
あり

七六 十誠のふきひのハあんぞや

くろとつくー神と愛ーまゝ隣と愛せらるゝ
らぬまのいそ〜せらるゝあり

七五 あんらのこありとつよハくまぞや

せむのくくハくま〜とありあり

七四 神ハちのまじらふ〜いふ〜と愛せらるゝの

しや

あつり神ハちのまじらふ〜と愛せらるゝの

七三 神ハちのれ〜とつらふ〜と愛せらるゝの

しや

あつり神ハつらふ〜と思人〜とつらふあり

七二 第一のいま〜とあんぞや

第一のいま〜とあんぞや
よ〜の〜と神と〜と

エホバあんぢの神の名とまじりよらるるを
エホバくその名とまじりよらるるを
とせらる

全五第三のいまめいあよと

神の名と神のことと神のまじりよらるる
と

全六第四のいまめいあんと

安息日とちがえてくれとせらるる
六日のあ

ついであんぢのこゝとせ七日めいエホバあんぢ
の神のやとみありこの日よくとせこのまじりよ
らるるをあんぢのひとせいひあらるる
とせ畜のまじりあんぢの門内よある人
とせエホバ六日のうちよ天地と海とそのあ
のあつゆのよとせ七日めいあんと
ゆえにエホバ安息日といふのでさぶら日とせ
全六第四のいまめいあんと

神の日にありて安息日とまのらりとてゆかり

六六キリストのみの安息日七日のうらびの日のあや

主の日にいっ七日のくつめの日あり

八九あまゆきよ主の日にいっつや

キリストの目に死よりよまざりしゆきあり

九十安息日とまのらりとてまのらぶとや

神とりのんびりまゝ神のとてとてあひに

うみあひに人よとてとてとてとてとて

九十一第五のいまめはあんでや

あんなの父と母とやまゝこれあんなのいのちを

あんなの神のたまはるゝの地よあんなあひあり

九十二第五のいまめはあんでや

父母のいび君長と愛しこれよあまふとてとて

ゆかり

九十三第六のいまめはあんでや

人とてあまをくれ

九四第六のいまめいあんとく

いりの情とあむいんとく

九五第七のいまめいあんとく

姦淫とくあつれ

九六第七のいまめいあんとく

いんとくいんとくいんとく

ゆらあつれ

九七第八のいまめいあんとく

ぬきむあつれ

九八第八のいまめいあんとく

正直とくあつれ

九九第九のいまめいあんとく

あんとくあつれ

百第一のいまめいあんとく

あんとくあつれ

百第十のいまめいあんとく

かんぢともりの家とひびがらあれきいあれちのちの
の妻しそのちる下女判ら馬およびせしてもありに
あつともりののよむびるあれ

百二十のいきりめはあよとと一ゆや

いよしの今限とまらう一ゆい一ゆいよゆいよ

百三人ぐり十誠とまらう一ゆいよとととと

ちしどアタムのふたぢらふ一ゆいゆいゆいゆい
十誠とまらう一ゆいゆいゆいゆいゆいゆい

まらうまらうまらう一ゆいゆいゆい

百四十誠ハいよゆいゆいにあんの益ありや

十誠ハいよゆいゆいゆいゆいゆいゆいゆい

まらうの救者あつらう一ゆいゆいゆいゆい

百五いのりハまんぞや

神のまらういよゆいゆいゆいゆいゆいゆいゆい
あり

百六のまらうゆいゆいゆいゆいゆいゆいゆい

ひかりキリストの名ようぞう

百七キリストの御名ようぞうとての御名よとて御名にあり
とあらめや

いかに主の御名よとての御名あり

百八主の御名よとての御名あり

天よまうとての御名よの父よ御名よとての御名よと
あまめとての御名よとての御名よとての御名よと
と天よまうとての御名よとての御名よとての御名よと

の御名よとての御名よとての御名よとての御名よと
人の御名よとての御名よとての御名よとての御名よと
たまへとての御名よとての御名よとての御名よと
まらとての御名よとての御名よとての御名よと
とあまめとての御名よとての御名よとての御名よと
いかにたまへとての御名よとての御名よとての御名よと

百九主の御名よとての御名よとての御名よとての御名よと

六六

百三第一のねがひはあんどや

みかどあめあまたまんとあり

百三第一のねがひはあんどや

神のみかどとしてきての人よりてあめあらしん
とをねがふあり

百三第二のねがひはあんどや

みかどあめあまたまんとあり

百三第二のねがひはあんどや

福音の世^{ヨソ}にひらまりのうつくしきとての人より
て信^{しん}トきちん^{ちん}とをねがふあり

百四第三のねがひはあんどや

みかどあめあまたまんとあり
地^ちよあめあまたまんとあり

百四第三のねがひはあんどや

天^{てん}よあめあまたまんとあり
神^{かみ}のつひのうつくしき人^{ひと}に地^ちよあめあまたまんとあり
とをねがふあり

百六第四のねがひはあんどや

この書の目的は、人々の心を導き、神の御旨を悟らしめ、天國の御業を成さんとすべしとあり

百十七第四の御旨は、神の御業を成さんとすべしとあり

神の御業の體は、靈魂の御業を成さんとすべしとあり
とたまはるゝんことをあり

百九第五の御旨は、人々の心を導き、神の御旨を悟らしめ、天國の御業を成さんとすべしとあり

この書の目的は、人々の心を導き、神の御旨を悟らしめ、天國の御業を成さんとすべしとあり

百九第五の御旨は、人々の心を導き、神の御旨を悟らしめ、天國の御業を成さんとすべしとあり

神の御業の體は、靈魂の御業を成さんとすべしとあり

この書を成すの御旨は、人々の心を導き、神の御旨を悟らしめ、天國の御業を成さんとすべしとあり

よからざることを成さんとすべしとあり

百十第六の御旨は、人々の心を導き、神の御旨を悟らしめ、天國の御業を成さんとすべしとあり

この書を成すの御旨は、人々の心を導き、神の御旨を悟らしめ、天國の御業を成さんとすべしとあり

あり

百十第六の御旨は、人々の心を導き、神の御旨を悟らしめ、天國の御業を成さんとすべしとあり

神のまじりつらきまじりあつらんこめまじり
たれとんそとねごふあり

百十二 ちりひの禮まじくさつありや

うさつあり

百十三 そのつハあんぞや

洗禮せんらいと主ぬの晩餐ばんさんあり

百十四 このちりひの禮まじとそハふれぞや

主イエス耶穌キリストあり

百十五 キリストくあふゆきよらちりひの禮まじとそハふれぞや

その門徒かどどもと世の人こころにまじりあつらんこの

ちりひやまんトあふちりひとあふちりひあり

百十六 洗禮せんらいとちりひとあふちりひあり

水みづとあつあり

百十七 そとハあんの義いとあつあり

このまじりキリストの血ちとちりひとあつらんこのちりひあり

こころあつらんそあり

百天^{ひゃくてん}のまじりくつれの名^なよりて洗禮^{せんらい}とくくちや

父^{ちち}と子^こと聖靈^{せいれい}の名^なよりてくくちやあり

百无^{ひゃくむ}洗禮^{せんらい}とくくちの名^なよりてくくちや

信^{しん}するものこその子^こどもあり

百干^{ひゃくかん}へうちれバ小兒^{せうじ}ガ洗禮^{せんらい}とくくちや

いふよしあまはりきつとある性質^{せいしやう}とてら救者^{きうしや}と

いふよしあまはりきつとあり

百王^{ひゃくおう}キリテ小兒^{せうじ}とくくちみたまや

ちりり耶穌^{イエス}とてどもの名^なにいふとてくくちや

と禁^{きん}むるあはれいふとてあまは天國^{てんこく}のいのちく

いふとてあまはりきつとあり

百王^{ひゃくおう}あんちりうけする洗禮^{せんらい}とくくちや

キリストのまじりくつれとてあまはりきつとあり

百王^{ひゃくおう}主^{ぬし}の晩餐^{ばんさん}とてくくちや

キリストの苦^{くるしみ}と死^しとをいふとて餅^{もち}とてくくち

葡萄酒^{ぶどうしゆ}とのひあり

百三十四 餅いあよとあしんせや

いしんせいのあにたれなるキリストの體とあし
んとあり

百三十五 葡萄酒いあよとあしんせや

いしんせいとあしんせのためよあにたれキリストの血とあ
らんとあり

百三十六 主の晚餐よあつるぶらめのいしんせや

そのいしんせといしんせのいしんせのいしんせよキリストと信

しんとあひまもののみあり

百三十七 キリストその十字架よつひられのら墓よとまれ

らや

あしんせその死せいのら三日めよ墓よりよみぞ
まあり

百三十八 キリストくわんせつるよあしんせや

つる人のいあよしんせあしんせを天よ軍とあり

百三十九 キリストくわんせつるよあしんせや

ちりちりおくりの日は世鬼の入とさぐんたさるん
百卑人ぐれ死むるをさむつるよあやや

その屍うがひはつらよつうたまりぬハ靈たまひの世鬼せゑよつちり

百卑死しや人ぐの内體うちたいのみがつらつらあやや

あつらラズグあつん死しやめよみづつらさるん
とあり

百卑二あつ人ひとはさぐんたの日よやくよあやや

あつらハ地ちぐれあけしあつらあつら

百卑三地ちぐくはいつあつらつらあや

あつらあつらあつらあつらあつらあつらあつらあつら

百卑四よさぐんたの日に義人よしみんつらあつらあや

あつらあつらあつらあつらあつらあつらあつら

百卑五天てんとつらあつらあつらあつらあつらあつら

あつらあつらあつらあつらあつらあつらあつらあつら

あつらあつらあつらあつらあつらあつらあつらあつら



古方國所指

Handwritten notes in the upper right corner, including the characters "古方" (Gufang).

Handwritten notes in the middle right area, including the characters "古方" (Gufang).

Handwritten notes on the left side, including the characters "古方" (Gufang).

Handwritten notes at the bottom left, including the characters "古方" (Gufang).